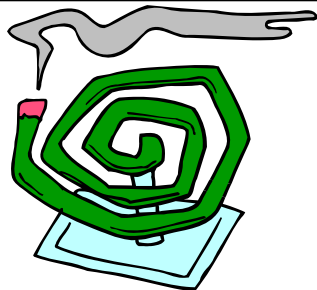


産地 直送便



発行（農）山形おきたま
産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net/>
2012.8.1 発行
責任者 星 隆之

2012 年産米おきたま産直米継続お願い

日頃、農事組合法人 山形おきたま産直センターをご愛顧頂き誠にありがとうございます。早いものでもう8月、現在稲は順調に生育しております。9月の後半に組合員が丹精込めて育てた稲の収穫を迎えます。

2012 年産米お届け期間

2012 年 10 月 ~ 2013 年 9 月の 1 年間

同じ内容で継続ご希望のお客様は、自動継続とさせていただきます。

ご連絡を頂く必要はございません。

お届け内容の変更、配送中止をご希望のお客様のみ各組織又は当センターまでご連絡下さいますようお願い致します。

皆様に安心しておきたま米をご利用頂く為に、
2012 年産米も放射能検査を行っていきます。
2012 年産米もどうぞよろしくお願い申し上げます。



田んぼの生きもの調査

7月14日に「田んぼの生きもの調査交流」を行いました。

生産者約70名の他、地元生協の組合員さんファミリーや各取引先の担当者の方々など沢山の方が参加されました。

昔は小学校などで田植え体験や稲刈り体験など行う所が多かったのですが、最近では芋掘りやプチトマトの栽培など畑での体験が主でなかなか田んぼに入る機会がありません。

田んぼの生きもの調査を通して、子供達が稲作に関心を持つ事はとても嬉しい事で、また重要な事と考えます。

お米は日本人の主食です。毎日、口にするご飯がどんなふうになん所で栽培されているのか、田んぼに生きものがある事で、環境にやさしい農業とどうつながっていくのかなど、実際に田んぼに入ってみたり、インストラクターの話を聞く事で理解し、考える事が出来る良い機会になったのではないかと思います。



～消費者&生産者交流～

7月初めに東京都区職員生協本庁支部の皆さんと交流会を行いました。

1日目は、山形の名所「山寺」を観光、天気が良く山形の大自然を感じて頂けたかと思います。

翌日、当方組合長のさくらんぼ園地にてさくらんぼ狩りを満喫されました。

その後、精米所を見学しアイガモ圃場のカモ達に笑みをこぼしていました。

生産者との昼食交流では、米沢地区の生産者と一緒に餅をつき、地元お母さん方の作った山菜の煮物や南陽特産のおかひじきを一緒に食べながら交流しました。



おきたまの葉月

お米 8月は、稲がカメムシの被害にあいやすい時期です。
被害にあったお米には黒い斑点が出来てしまいます。
害虫のすみかを無くすため田圃の周囲や道路の草刈りを行います。

野菜 スイカ、カボチャの出荷が8月中旬で終わります。収穫後は株の抜き取りやつるの片づけを行い、秋野菜の準備をします。

果物 ぶどうの収穫作業が始まります。糖度計で甘さを計りながら、食味優先の収穫を行います。8月上旬頃から主力品種であるデラウェアなどの出荷が始まります。

『高級大粒ぶどう』ギフトを企画致しました。別紙注文書をご覧ください。